

サイ・テック 知と技の発信

[217]

埼玉大学・理工学研究の現場

■今世紀最も重要な技術

埼玉大学のあるさいたま市 全国的にも珍しい地域であるが、埼玉県に250社以上存在 ことを受けて、埼玉県では「オプティカル・テクノロジー」を軸とした「光技術関連企業集積地帯の プトビレッジ構想」を立ち上げ、中心にあります。これは戦時中、光技術関連産業を地域産業として大宮に光学兵器用レンズの研磨 して支援しています。工場があったことに由来して、光技術関連分野は、ガラスな



いけの・じゅんいち 1986年埼玉大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)(東京大学)。東京大学生産技術研究所、豊橋技術科学大学、埼玉大学准教授を経て、2010年から現職。

光技術関連分野と人材育成

池野 順一 大学院理工学研究科 教授

どの素材開発、レーザー装置開発、部科学省の支援を得て、地域産業活性化のための先進創造型人材育成プログラムを実施しました。2008年〜10年まで、グランド・ナノファブリケーションセンター(GNF)特別教育プロジェクトを実施し、全国的にも注目を集め、日本機械学会などから教育賞を頂戴しました。また、文系教員の多大なる協力を得て知財戦略力や異文化理解力、経営センス、男女共同参画意識など「グローバルな素養」を身につけた均整の取れた人材育成にも力を入れました。

その応用先は自動車、半導体、IT機器など多くの産業分野に亘っています。これにより、光技術は今世紀最も重要な技術に挙げられています。オプトビレッジでは、経産省から技術開発のための大型予算を得て、さまざまな光技術開発が進められました。埼玉大学も地域企業とともに

参画し、新しい撮像素子やスーパーミラー研磨技術など多くの研究成果を発信してきました。7年間のプロジェクト 地域産業を永続的に発展させるためには、個々の技術開発ばかりではなく、将来を担う若者の育成が重要な課題です。そこで埼玉大学大学院では文

■7年間のプロジェクト 地域産業を永続的に発展させるためには、個々の技術開発ばかりではなく、将来を担う若者の育成が重要な課題です。そこで埼玉大学大学院では文

その応用先は自動車、半導体、IT機器など多くの産業分野に亘っています。これにより、光技術は今世紀最も重要な技術に挙げられています。オプトビレッジでは、経産省から技術開発のための大型予算を得て、さまざまな光技術開発が進められました。埼玉大学も地域企業とともに参画し、新しい撮像素子やスーパーミラー研磨技術など多くの研究成果を発信してきました。7年間のプロジェクト 地域産業を永続的に発展させるためには、個々の技術開発ばかりではなく、将来を担う若者の育成が重要な課題です。そこで埼玉大学大学院では文

その応用先は自動車、半導体、IT機器など多くの産業分野に亘っています。これにより、光技術は今世紀最も重要な技術に挙げられています。オプトビレッジでは、経産省から技術開発のための大型予算を得て、さまざまな光技術開発が進められました。埼玉大学も地域企業とともに参画し、新しい撮像素子やスーパーミラー研磨技術など多くの研究成果を発信してきました。7年間のプロジェクト 地域産業を永続的に発展させるためには、個々の技術開発ばかりではなく、将来を担う若者の育成が重要な課題です。そこで埼玉大学大学院では文

埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048-795-9161 FAX 048-653-9040
kkezai@saitama-np.co.jp